

2020年5月発行

2019年度版  
コンビニエンスストア  
セーフティステーション活動  
アンケートリポート

アンケート対象期間：2019年1月～12月



エスゾウくん

安全・安心なまちづくりに向けた  
セーフティステーション活動の  
アンケート結果です

エスゾウくんは  
セーフティステーション活動の  
イメージキャラクターです



一般社団法人  
日本フランチャイズチェーン協会  
Japan Franchise Association

コンビニエンスストア  
セーフティステーション活動推進委員会

JFA に加盟しているコンビニエンスストアでは  
この「セーフティステーション活動ポスター」を  
店頭に掲付して皆様に活動の実施をお知らせしています

## セーフティステーション活動実施店

地域社会の安全・安心なまちづくりと青少年環境の健全化に努めます



こまったときは…

**エスゾウくん**のお店へ!



防犯・防災

子ども・女性・高齢者保護

20歳未満者飲酒喫煙防止



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

後援 / 経済産業省・内閣府・警察庁・消防庁・消費者庁・国税庁・厚生労働省

## 【アンケート概要】

一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会（以下、J F Aと表記）に加盟するコンビニエンスストアでは「安全・安心なまちづくりに協力」と「青少年環境の健全化への取組み」を2つの柱とする「セーフティステーション活動（以下、S S活動と表記）」について自主的に取り組んでいます。同活動の更なる定着・深耕を図るため、全国の加盟店（オーナーさま・店長さま）に実施したアンケート調査結果をご報告いたします。

※尚、アンケート結果は回答の正確性を高めるため、設問毎に有効回答（全回答－無回答）を求めてn数（母数）を算出しています。

### 1. 活動参加企業：コンビニエンスストア本部（五十音順）

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| ①国分グローサーズチェーン(株)  | ⑤(株)ポプラ                 |
| ②(株)セイコーマート       | ⑥ミニストップ(株)              |
| ③(株)セブン-イレブン・ジャパン | ⑦山崎製パン(株)デイリーヤマザキ事業統括本部 |
| ④(株)ファミリーマート      | ⑧(株)ローソン                |

※各企業の都道府県別店舗数及びブランドチェーン名は巻末に記載しています。

2. 回答店舗数：57,022店（アンケート配付：57,257店 回答率：99.6%）

3. アンケート対象期間：2019年1月1日～同年12月31日（2020年2月にアンケートを実施）

### 4. アンケート結果報告の内容（質問内容）

#### 【安全・安心なまちづくりに協力】

- (1)防犯に関する訓練や講習会・会合などの参加状況と内容
- (2)制服警察官の立ち寄り
- (3)店外（屋外）用防犯カメラ設置の有無
- (4)警察への捜査協力と110番通報の内容
- (5)女性・子どもの駆け込みと高齢者保護の状況
- (6)特殊詐欺未然防止の状況と防止できた理由・対策

#### 【青少年環境の健全化への取組み】

- (1)青少年に対する帰宅促しの状況とトラブル発生回数
- (2)身分証明書による年齢確認実施時のトラブル発生状況

#### 【地域との交流】

- (1)地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

#### 【防災関連、その他】

- (1)災害発生時の支援とその内容
- (2)A E D設置の有無
- (3)外国人従業員雇用の有無



(11) (8) で「はい」と回答した場合、駆け込んで来た女性・子ども、保護した高齢者への対応を教えてください【複数回答可】	
女性の駆け込み対応	㊶ 110番通報 ㊷ 119番通報 ㊸ 家族・知人などに連絡 ㊹ 売場・バックルームで保護 ㊺ 自宅まで送った ㊻ その他
子ども(中学生ぐらいまでの)駆け込み対応	㊶ 110番通報 ㊷ 119番通報 ㊸ 児童相談所などの施設に連絡 ㊹ 家族・知人などに連絡 ㊺ 売場・バックルームで保護 ㊻ 自宅まで送った ㊼ その他
高齢者の保護	㊶ 110番通報 ㊷ 119番通報 ㊸ 入所施設などに連絡 ㊹ 家族・知人などに連絡 ㊺ 売場・バックルームで保護 ㊻ 自宅まで送った ㊼ その他
(12) 振り込み詐欺などの特殊詐欺を未然に防止したことがありますか？(電子マネー・ATM・出し子の通報など)	㊶ はい ㊷ いいえ
(13) (12) で「はい」と回答した場合、なぜ被害を防止することができたのですか？【複数回答可】	㊶ 高額な電子マネー(POSAカード)の購入を不審に感じた ㊷ 「シルバー・携帯・ATM」のフレーズ(※)に該当した ㊸ 「高額・端末・POSAカード」のフレーズ(※)に該当した ㊹ 「還付金」や「子どもに送金」などの話が聞こえた ㊺ 「現金を宅配便などで送りたい」旨を言われた ㊻ 高額なインターネット決済を不審に感じた ㊼ その他 (※)フレーズ:SS活動通信などで注意喚起していた項目(キーワード)
(14) 振り込み詐欺などの特殊詐欺被害防止について警察から巡回指導などを受けたことがありますか？(電子マネー・ATM・出し子の通報など)	㊶ はい ㊷ いいえ
(15) 店舗で特殊詐欺を未然防止するために何か取組みを行なっていますか？【複数回答可】	㊶ 高額な電子マネー(POSAカード)の購入時には声をかけている ㊷ SS活動通信を活用している ㊸ 警察などから提供されたチェックシートを活用している ㊹ 日頃から従業員に口頭で注意喚起している ㊺ その他の取組みをしている ㊻ 特に取組みをしていない

## 2. 青少年環境の健全化への取組み

(16) 条例の有無にかかわらず、深夜時間帯は青少年に対して帰宅を促していますか？	㊶ はい ㊷ いいえ
(17) (16) で「はい」と回答した場合、トラブルになったことはありますか？ また、「はい」と回答した場合、この1年間のトラブル発生回数は概ね何回ですか？	㊶ はい ㊷ いいえ 発生回数 ㊸ 1回 ㊹ 2回 ㊺ 3回 ㊻ 4回 ㊼ 5回以上
(18) (17) で「はい」と回答した場合、お客様はどのような態度を取りましたか？【複数回答可】	㊶ 素直に応じず文句を言う ㊷ 故意に大きな声で恫喝をする ㊸ 人身に対する暴行 ㊹ レジやカウンターなどの器物損壊 ㊺ 店頭や駐車場を汚したままで帰宅 ㊻ その他
(19) 酒類やたばこを販売する際に身分証明書の提示を求めてトラブルになったことはありますか？ また、「はい」と回答した場合、この1年間のトラブル発生回数は概ね何回ですか？	酒類 ㊶ はい ㊷ いいえ 発生回数 ㊸ 5回以下 ㊹ 6回~10回 ㊺ 11回~30回 ㊻ 31回~50回 ㊼ 51回以上 たばこ ㊶ はい ㊷ いいえ 発生回数 ㊸ 5回以下 ㊹ 6回~10回 ㊺ 11回~30回 ㊻ 31回~50回 ㊼ 51回以上
(20) (19) で「はい」と回答した場合、お客様はどのような態度を取りましたか？【複数回答可】	酒類 ㊶ 素直に応じず文句を言う ㊷ 故意に大きな声で恫喝をする ㊸ 人身に対する暴行 ㊹ レジやカウンターなどの器物損壊 ㊺ その他 たばこ ㊶ 素直に応じず文句を言う ㊷ 故意に大きな声で恫喝をする ㊸ 人身に対する暴行 ㊹ レジやカウンターなどの器物損壊 ㊺ その他
(21) 酒類・たばこを販売する際の年齢確認に関して要望はありますか？【複数回答可】	㊶ 現行の法制度(販売者の年齢確認義務)の周知活動 ㊷ 購入者が身分証明書を提示するなどの条例の制度化 ㊸ 店舗責任者向けの講習会など ㊹ 学校・PTAなどで健康被害・飲酒・喫煙防止教育を徹底させる ㊺ 身分証明書を「写真付きの身分証明書」に統一させる

## 3. 地域との交流

(22) 地域との交流を深めるため、現在、どのような活動・協力をしていますか？【複数回答可】	㊶ 認知症サポーター ㊷ 地域包括支援センターとの協力 ㊸ 自治会・子ども会・敬老会などに参加 ㊹ PTA活動に参加 ㊺ 児童登下校時の見守り活動 ㊻ 清掃活動 ㊼ 防犯(防災)活動 ㊽ 体験学習の実施 ㊾ 交通指導員 ㊿ 補導員 ㊽ 地域の見守りネットワークに参加 ㊾ その他
--	---

## 4. 防災関連、その他

(23) 災害(地震・風水害・雪害など)が発生した際に、店舗に立ち寄られた方に何らかの支援をしましたか？	㊶ はい ㊷ いいえ ㊸ 機会がなかった
(24) (23) で「はい」と回答した場合、店舗ではどのような支援をしましたか？【複数回答可】	㊶ 可能な限り営業(※)を継続した ㊷ トイレを提供(貸出し) ㊸ 水道水(お湯含)を提供 ㊹ 交通情報を提供 ㊺ 食料品(飲料水含)を無償提供 ㊻ 110番・119番通報 ㊼ 休憩場所を提供 ㊽ 道案内 ㊾ 携帯電話などを充電 ㊿ その他 (※)安全を確保した上での営業
(25) 店舗にAEDは設置されていますか？	㊶ はい ㊷ いいえ
(26) 店舗にイートインスペースがありますか？	㊶ はい ㊷ いいえ
(27) 外国人従業員を雇用していますか？	㊶ はい ㊷ いいえ

JFAでは「体験学習店舗用ガイドンス」や「店舗用体験学習ノート」など店舗でスムーズに受け入れができるような資料を準備していますのでホームページをご覧ください。【JFAホームページ】<http://www.jfa-fc.or.jp/>



ご協力ありがとうございました



## 【総括】

私たちコンビニエンスストアは、日頃の営業活動の中でも目配り・気配りを常に行なうことで少なからず地域の安全・安心に貢献できていると考えております。SS活動に取り組んだことでお客さまや地域の皆さまからは感謝のお言葉を頂戴しております。これからも「まちの安全・安心の拠点」としてお客さまをはじめ、地域社会や行政機関などとの連携を強化して同活動の深耕を図って参ります。

### 【安全・安心なまちづくりに協力】

#### ① 防犯に関する訓練や講習会・会合などへの参加状況と内容

店舗ではチェーンの垣根を越えて合同防犯訓練を推進しており 15,611 店 (27.6%⇒構成比を記載、以下注釈がない場合は同様) が訓練や講習会などに参加して防犯体制の強化や特殊詐欺未然防止などに取り組みました。

#### ② 制服警察官の立ち寄り

制服の警察官が買物などで店舗に立ち寄ることについて「安心感がありもっと立ち寄ってほしい」など 54,910 店 (97.3%) から肯定的な意見がありました。

#### ③ 店外（屋外）用防犯カメラ設置の有無

店外（屋外）用防犯カメラは 46,743 店 (83.0%) で設置しています。一方、防犯カメラを設置していない 9,566 店 (17.0%) は「構造上設置が不可能」や「駅の構内や病院などの屋内店舗である」などの理由となります。

#### ④ 警察への捜査協力の状況

警察からの要請に対して 51,328 店 (90.9%) が防犯カメラ画像の提供などの捜査協力をしました。事故や事件の早期解決に役立つ情報提供により地域の安全で安心なまちづくりに貢献しています。

#### ⑤ 女性・子どもの駆け込みと高齢者保護の状況

女性の駆け込みは 5,264 店で延べ 7,329 回以上、子どもの駆け込みは 3,064 店で延べ 4,425 回以上の対応を行いました。また、高齢者の保護は 10,725 店で延べ 18,729 回以上の対応を行いました。

#### ⑥ 特殊詐欺未然防止の状況と防止できた理由・対策

9,118 店が「特殊詐欺を未然に防いだ」と回答があり、近年は防止できた店舗数が年々増加しています。防止できた理由は「高額な電子マネーの購入を不審に感じた」として注意喚起の声をかけたものが一番多く 6,885 店でした。

### 【青少年環境の健全化への取組み】

① 青少年に対する帰宅促しの状況

深夜時間帯で青少年に帰宅を促している店舗は29,753店（52.9%）ありました。

② 身分証明書による年齢確認実施時のトラブル発生状況

身分証明書の提示を求めた際に20,865店（酒類・たばこの合算）でトラブルが発生しました。なかには従業員への暴行や器物損壊に発展するケースもありました。

### 【地域との交流】

① 地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

25,022店が「地域との交流を深めるために活動・協力をしている」と回答しました。「体験学習の受け入れ」や「清掃活動」などの活動や協力がありました。

### 【防災関連、その他】

① 災害時の備えと実施した支援の内容

風水害など、災害が発生した際に9,709店で何らかの支援を実施しました。被災した地域のお役に立てるように「可能な限り営業を継続」、「トイレの提供」、「休憩場所の提供」を主に実施しました。

② AED設置の有無

社会貢献活動の一環として5,771店（10.3%）でAEDを設置しています。

③ 外国人従業員雇用の有無

19,051店（33.8%）で外国人従業員を雇用しています。

### 【店舗より寄せられた主な意見】

酒類・たばこ販売時の年齢確認については店舗やチェーン本部では購入者に身分証明書を提示していただけるように工夫しておりますが、購入者の理解が得られずに、トラブルになっているケースも散見されます。現行の法制度（販売者にのみ年齢確認義務を負わせる）では限界があり、購入者が身分証明書などを提示しなければ購入できないよう、国及び自治体として制度化していただきたいと願っています。

また、青少年の深夜時間帯での居座り行為や20歳未満者の飲酒・喫煙などを発見した際には店舗でも注意喚起を行ないますので、深夜時間帯における制服警察官のパトロールや立ち寄りを併せて強化していただくとともに、強盗対策や特殊詐欺被害防止に向けた防犯訓練の実施などもお願いいたします。

## 安全・安心なまちづくりに協力

### (1) 防犯に関する訓練や講習会・会合などの参加状況と内容

#### ① 防犯に関する訓練や講習会・会合などに参加した店舗 【n=56, 598 店】

項目	参加した	参加しなかった
店舗数	15,611 店	40,987 店
構成比 (100.0%)	27.6%	72.4%

#### ② 訓練や講習会・会合などの内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=15,476 店】

項目	強盗模擬訓練	防犯会議や 定期総会	防犯カラー ボール投てき	酒類・たばこ の年齢確認	特殊詐欺 の未然防止
店舗数	6,412 店	5,332 店	4,765 店	4,665 店	1,973 店
割合	41.4%	34.5%	30.8%	30.1%	12.7%

項目	窃盗（万引き） 防止	高齢者の保護	子どもの 駆け込み	女性の 駆け込み	その他
店舗数	1,154 店	835 店	547 店	350 店	752 店
割合	7.5%	5.4%	3.5%	2.3%	4.9%

### (2) 制服警察官の立ち寄り

#### ① 制服警察官が買物などで店舗に立ち寄ることについての感想 【n=56,454 店】

項目	安心感があり 立ち寄って ほしい	安心感はある が立ち寄った ことがない	違和感はある が立ち寄って ほしい	その他
店舗数	43,730 店	6,669 店	4,511 店	1,544 店
構成比 (100.0%)	77.5%	11.8%	8.0%	2.7%

### (3) 店外（屋外）用防犯カメラ設置の有無

#### ① 店外（屋外）用の防犯カメラ設置状況 【n=56,309 店】

項目	設置あり	設置なし
店舗数	46,743 店	9,566 店
構成比 (100.0%)	83.0%	17.0%



#### (4) 警察への捜査協力と110番通報の内容

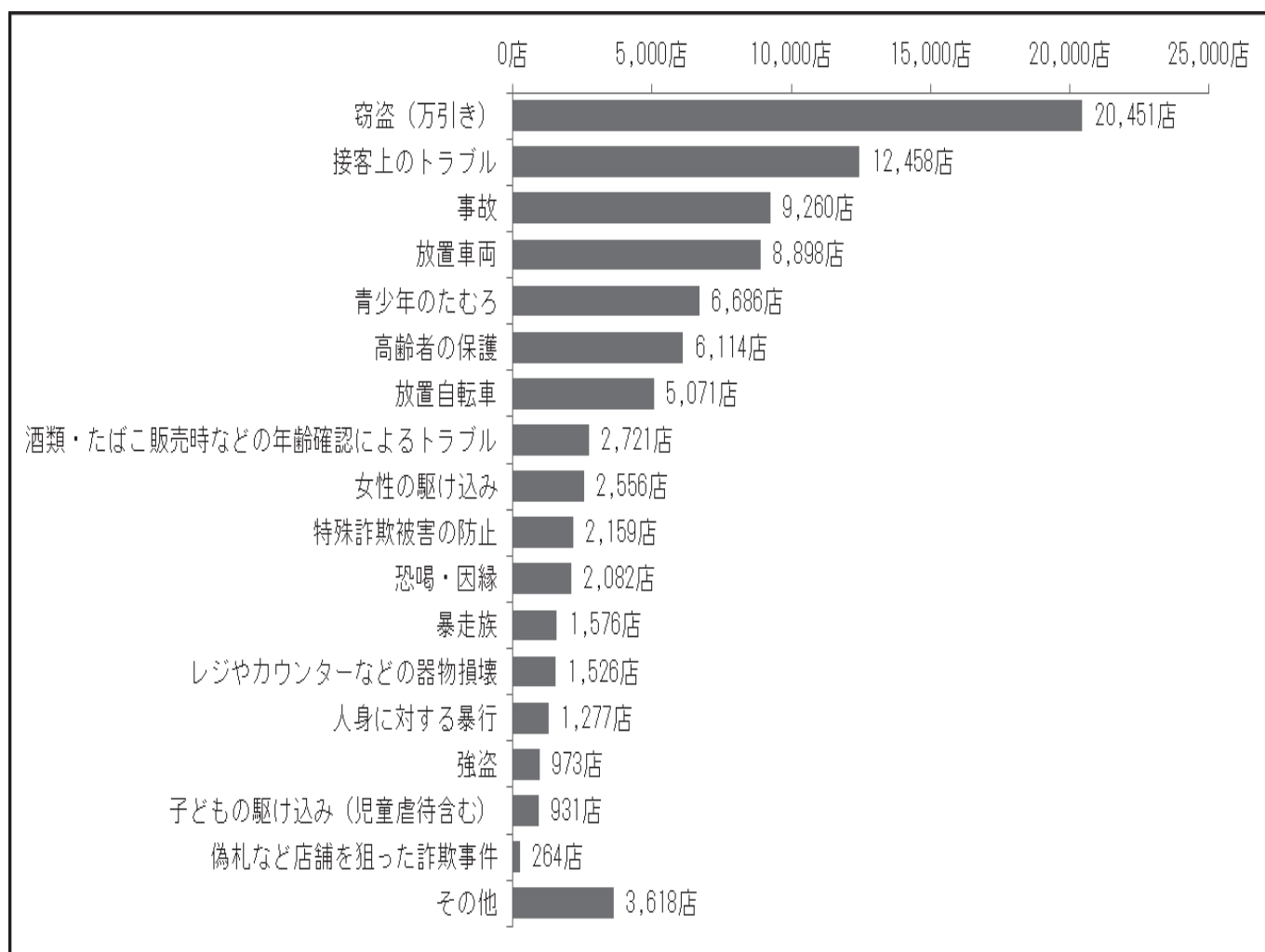
##### ① 警察の捜査に協力した店舗【n=56,450店】

項目	協力した	協力する機会がなかった
店舗数	51,328店	5,122店
構成比 (100.0%)	90.9%	9.1%

##### ② 110番通報の状況【n=56,271店】

項目	通報した	通報していない
店舗数	36,155店	20,116店
構成比 (100.0%)	64.3%	35.7%

##### ③ 通報した内容【複数回答：n=36,012店】



## (5) 女性・子どもの駆け込みと高齢者保護の状況

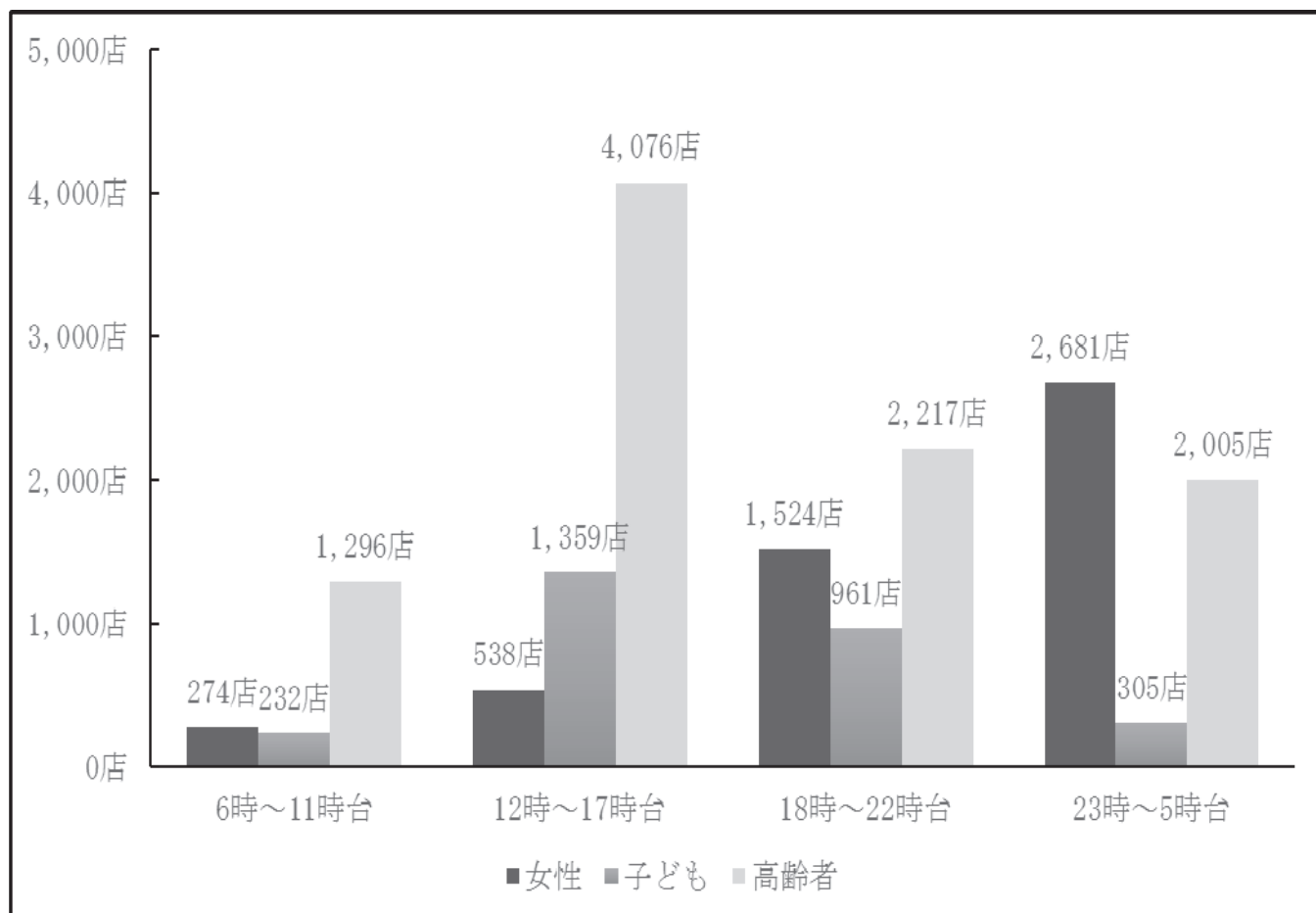
① 駆け込み・保護の状況【複数回答：割合はnに占める各回答の割合

女性n=54,296店 子どもn=53,198店 高齢者n=54,285店】

項目	駆け込み・保護を行った店舗	回数	駆け込み・保護を行った店舗の割合
女性の駆け込み	5,264店	7,329回以上	9.7%
子供の駆け込み	3,064店	4,425回以上	5.8%
高齢者の保護	10,725店	18,729回以上	19.8%

② 駆け込み・保護を行った時間帯

【女性n=5,017店 子どもn=2,857店 高齢者n=9,594店】



③ 女性の駆け込み理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=5,125店】

項目	ストーカー (つきまとい)	知らない人から 声をかけられた	暴力 (DV含む)	急病・ケガ	痴漢	事故	その他
店舗数	2,184店	1,256店	899店	528店	437店	220店	649店
割合	42.6%	24.5%	17.5%	10.3%	8.5%	4.3%	12.7%

④ 駆け込んできた女性への対応

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=5,060店】

項目	110番通報	売場・バック ルームで 保護	家族・知人 などに連絡	自宅まで 送った	119番通報	その他
店舗数	3,300店	1,911店	559店	292店	290店	268店
割合	65.2%	37.8%	11.0%	5.8%	5.7%	5.3%

⑤ 子どもの駆け込み理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=3,013店】

項目	道に迷った	家族や友達と はぐれた	知らない人 から声を かけられた	家出	急病・ケガ
店舗数	792店	645店	581店	316店	314店
割合	26.3%	21.4%	19.3%	10.5%	10.4%

項目	暴力 (家庭内 暴力含む)	痴漢 (いたづら)	事故	その他
店舗数	135店	114店	65店	565店
割合	4.5%	3.8%	2.2%	18.8%

⑥ 駆け込んできた子どもへの対応

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,936店】

項目	110番通報	家族・知人 などに 連絡	売場・バック ルームで 保護	自宅まで 送った	児童 相談所 などの 施設 に連絡	119番通報	その他
店舗数	1,427店	958店	893店	305店	64店	61店	238店
割合	48.6%	32.6%	30.4%	10.4%	2.2%	2.1%	8.1%

⑦ 高齢者保護の理由【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,570 店】

項目	徘徊	徘徊以外の 問題行動	急病・ケガ	道に迷った
店舗数	5,209 店	3,142 店	2,739 店	2,015 店
割合	49.3%	29.7%	25.9%	19.1%

項目	事故	家族や知人 とはぐれた	暴力 (家庭内 暴力含む)	その他
店舗数	286 店	255 店	70 店	603 店
割合	2.7%	2.4%	0.7%	5.7%

⑧ 駆け込んできた高齢者への対応

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=10,242 店】

項目	110番通報	家族・知人 などに 連絡	売場・ バック ルームで 保護	119番通報	自宅まで 送った	入所施設 などに 連絡	その他
店舗数	6,930 店	1,940 店	1,706 店	1,705 店	760 店	704 店	449 店
割合	67.7%	18.9%	16.7%	16.6%	7.4%	6.9%	4.4%

(6) 特殊詐欺未然防止の状況と防止できた理由・対策

① 特殊詐欺を未然に防止した店舗【n=55,728 店】

項目	防止した	防止する機会 がなかった
店舗数	9,118 店	46,610 店
構成比 (100.0%)	16.4%	83.6%

② 防止した店舗数の過去5カ年推移

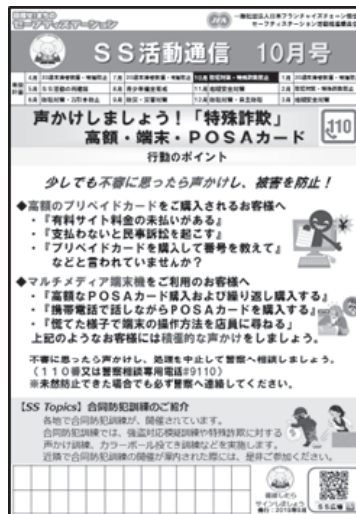
年数	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
店舗数	2,659 店	3,922 店	6,158 店	8,327 店	9,118 店
割合	5.3%	7.4%	11.3%	14.9%	16.4%

③ 未然に防止することができた（声をかけた）理由

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=8,994 店】

項目	高額な電子マネーの購入を不審に感じた	「シルバー・携帯・ATM」のフレーズに該当した	高額なインターネット決済を不審に感じた	「高額・端末・POSAカード」のフレーズに該当した	「還付金」や「子供に送金」などの話が聞こえた	「現金を宅配便などで送りたい」旨を言われた	その他
店舗数	6,885 店	1,083 店	930 店	847 店	332 店	152 店	550 店
割合	76.6%	12.0%	10.3%	9.4%	3.7%	1.7%	6.1%

JFAが発行している『SS活動通信』で注意喚起しています。



(右図：SS活動通信→)

④ 特殊詐欺被害防止について警察から依頼や巡回指導を受けた店舗【n=51,573 店】

項目	受けたことがある	受けたことがない
店舗数	31,884 店	19,689 店
構成比 (100.0%)	61.8%	38.2%

⑤ 特殊詐欺防止のために取組んだ内容

【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=43,082 店】

項目	高額な電子マネーの購入時は声をかけている	従業員に口頭で注意喚起をしている	SS活動通信を活用している	警察などから提供されたチェックシートを活用している	その他
店舗数	25,612 店	17,806 店	8,994 店	6,810 店	1,999 店
割合	59.4%	41.3%	20.9%	15.8%	4.6%



## 青少年環境の健全化への取組み

### (1) 青少年に対する帰宅促しの状況とトラブル発生回数

① 条例の有無に関わらず深夜時間帯に帰宅促しを実施している店舗【n=56,198店】

項目	実施している	実施していない
店舗数	29,753店	26,445店
構成比 (100.0%)	52.9%	47.1%

② 帰宅促しを行った際のトラブルの有無【n=29,144店】

項目	トラブルあり	トラブルなし
店舗数	2,338店	26,806店
構成比 (100.0%)	8.0%	92.0%

③ この一年間のトラブル発生回数【n=1,830店】

項目	1回	2回	3回	4回	5回以上
店舗数	571店	460店	264店	41店	494店
構成比 (100.0%)	31.2%	25.1%	14.4%	2.3%	27.0%

④ トラブルの内容【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=2,293店】

項目	素直に 応じず 文句を言う	店頭・ 駐車場を 汚したまま で帰宅	大きな 声で恫喝	暴行 (器物 損壊)	暴行 (人身)	その他
店舗数	1,797店	1,263店	899店	92店	58店	131店
割合	78.4%	55.1%	39.2%	4.0%	2.5%	5.7%

## (2) 身分証明書による年齢確認実施時のトラブル発生状況

### ① 身分証明書の提示を求めた際のトラブルの有無

【酒類 n=53,125 店 たばこ n=51,616 店】

項 目		トラブルがあった	トラブルはなかった
酒 類	店舗数	9,436 店	43,689 店
	構成比 (100.0%)	17.8%	82.2%
たばこ	店舗数	11,429 店	40,187 店
	構成比 (100.0%)	22.1%	77.9%

### ② トラブルになった回数

【酒類 n=8,498 店 たばこ n=10,168 店】

項 目		5 回以下	6～10 回	11～30 回	31～50 回	51 回以上
酒 類	店舗数	6,040 店	1,469 店	649 店	109 店	231 店
	構成比 (100.0%)	71.1%	17.3%	7.6%	1.3%	2.7%
たばこ	店舗数	7,311 店	1,628 店	831 店	143 店	255 店
	構成比 (100.0%)	71.9%	16.0%	8.2%	1.4%	2.5%

### ③ トラブルの内容

【複数回答：割合は n に占める各回答の割合 酒類 n=9,320 店 たばこ n=10,961 店】

項 目		文句を 言う	大きな声 で恫喝	暴行 (器物 損壊)	暴行 (人身)	その他
酒 類	店舗数	8,383 店	3,634 店	395 店	125 店	357 店
	割 合	89.9%	39.0%	4.2%	1.3%	3.8%
たばこ	店舗数	9,817 店	4,027 店	423 店	126 店	502 店
	割 合	89.6%	36.7%	3.9%	1.1%	4.6%

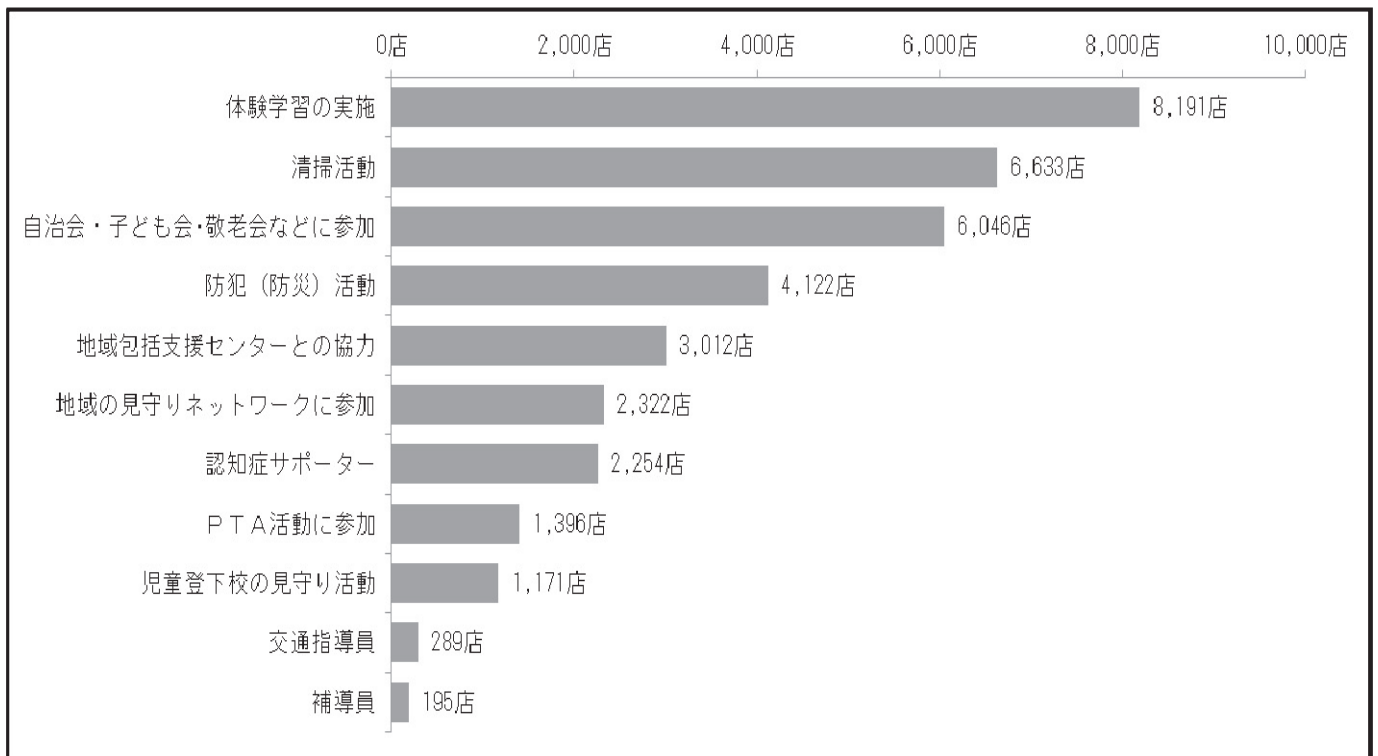
④ 年齢確認に対する要望【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=50,681店】

項目	購入者が身分証明書を提示するなどの制度化	身分証明書を「写真付きの身分証明書」に統一してほしい	現行の法制度（販売者の年齢確認義務）の周知活動	学校・PTAなどで健康被害・飲酒・喫煙防止教育を徹底してほしい	店舗責任者向けの年齢確認訓練・講習会の開催
店舗数	31,374店	21,838店	20,098店	10,271店	1,190店
割合	61.9%	43.1%	39.7%	20.3%	2.3%

## 地域との交流

### (1) 地域との交流を深めるために実施している活動や協力など

① 地域との交流を深めるために現在行っている活動や協力【複数回答 n=25,022店】



## 防災関連、その他

### (1) 災害発生時の支援とその内容

① 災害発生時の支援【n=17,615店】 支援する機会がなかった店舗 38,234店

項目	支援した	支援できなかった
店舗数	9,709店	7,906店
構成比 (100.0%)	55.1%	44.9%

② 災害時支援の内容【複数回答：割合はnに占める各回答の割合 n=9,666店】

項目	可能な限り 営業した	トイレを 提供	休憩場所 を提供	水道水や お湯を提供	携帯電話 などを充電
店舗数	7,700店	5,155店	1,684店	1,262店	1,176店
割合	79.7%	53.3%	17.4%	13.1%	12.2%

項目	道案内	交通情報 を提供	飲食料品を 無償提供	110番・ 119番通報	その他
店舗数	1,122店	963店	489店	253店	387店
割合	11.6%	10.0%	5.1%	2.6%	4.0%

### (2) AED設置の有無

① AEDが設置されている店舗【n=56,162店】

項目	設置 されている	設置 されていない
店舗数	5,771店	50,391店
構成比 (100.0%)	10.3%	89.7%

### (3) 外国人従業員雇用の有無

① 外国人従業員を雇用している店舗【n=56,423店】

項目	雇用 している	雇用 していない
店舗数	19,051店	37,372店
構成比 (100.0%)	33.8%	66.2%

《資料》 チェーン別・都道府県別SS活動実施店舗数

2019年12月末現在

企業名	セブンイレブン ・ <small>（株）</small> ジャパン	ファミリーマート <small>（株）</small>	ローソン <small>（株）</small>	ミニストップ <small>（株）</small>	山崎製パン （株） デイリーヤマザキ 事業統括本部	セイコーマート <small>（株）</small>	ポプラ <small>（株）</small>	国分格ローサーズ チェーン <small>（株）</small>	チェーン合計
ブランドチェーン	セブンイレブン	ファミリーマート	ローソン・スリーエフ ローソン・ポプラ ナチュラルストア100 ローソン	ミニストップ	ニューヤマザキデイリーストア ヤマザキデイリーストア デイリーヤマザキ	セイコーマート	スリーエイト くらしハウス ポプラ	コミュニティ・ストア	
北海道	1,008	237	680			1,082			3,007
東北	青森県	94	202	270	27	11			604
	岩手県	147	184	177	12	24			544
	宮城県	410	353	254	109	29			1,155
	秋田県	108	146	187		18			459
	山形県	184	143	115		6			448
	福島県	454	179	164	84	15			896
関東	茨城県	650	333	224	105	34	85	8	1,439
	栃木県	451	221	202	29	15		2	920
	群馬県	469	121	255	48	25			918
	埼玉県	1,212	784	693	135	68	10	21	2,924
	千葉県	1,123	627	610	177	132		31	2,702
	東京都	2,768	2,443	1,734	258	140		71	7,441
中部・北陸	神奈川県	1,464	991	1,111	121	87		21	3,800
	新潟県	429	179	227		59			894
	富山県	133	156	191		9		10	499
	石川県	139	247	106		9		11	512
	福井県	69	151	113	7				340
	山梨県	207	81	137		32			457
	長野県	464	264	173		34			935
	岐阜県	195	342	182	86	48			853
	静岡県	737	491	285	135	36			1,685
	愛知県	1,053	1,567	728	199	72		5	3,625
関西	三重県	170	393	139	84	3			789
	滋賀県	240	159	157	5	4		1	566
	京都府	361	328	328	35	33		6	1,091
	大阪府	1,261	1,364	1,136	84	127		31	4,008
	兵庫県	703	530	666	44	55		8	2,008
	奈良県	140	146	138	12	22			458
中国	和歌山県	86	114	150		19			369
	鳥取県	38	71	140				8	257
	島根県	61	67	145		1		11	285
	岡山県	308	236	200		16		27	787
	広島県	600	268	233		31		88	1,220
	山口県	332	92	118		7		23	572
	徳島県	84	83	136	19	3			325
四国	香川県	103	124	131	31	15			404
	愛媛県	125	234	213	7	5		1	585
	高知県	40	104	138					282
	福岡県	1,014	533	521	121	73		51	2,313
九州	佐賀県	188	73	75	12	11		5	364
	長崎県	204	152	111		49		16	532
	熊本県	356	199	159		53		13	780
	大分県	180	120	191	3	12		8	514
	宮崎県	196	122	105		1			424
	鹿児島県	201	275	197					673
沖縄県	29	327	238					594	
合計店舗数	20,988	16,556	14,583	1,989	1,443	1,177	477	44	57,257
出店地域数	47	47	47	27	41	3	24	8	



この件に関するお問い合わせ



事務局: 島村・岡村・田中

TEL: 03-5777-8701 FAX: 03-5777-8711

E-mail : [jfa\\_ss@jfa-fc.or.jp](mailto:jfa_ss@jfa-fc.or.jp)

セーフティステーション活動ホームページ

URL : <http://ss.jfa-fc.or.jp>

QRコードからのアクセスはこちら→

